

2016年度

空間表現 (問題)

〈H28106281〉

注意事項

1. この試験では、この問題冊子のほかに、解答用紙を配布する。
2. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
3. 問題は3ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
4. 解答はすべて解答用紙の所定欄（表側のみ）に、黒鉛筆（濃さは自由）で描くこと。
5. シャープペンシルは使用しないこと。また、スケッチ用器具、定規等も使用しないこと。
6. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に丁寧に記入すること（以下の記入例参照）。所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。
7. 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。読みづらい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意すること。

(記入例) 58001番 ⇒

万	千	百	十	一
5	8	0	0	1

(数字見本)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

8. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
9. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにすること。
10. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
11. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

火祭り※の風景を描いて下さい。

火と人間の関係の歴史を踏まえ、それが明解に伝わるような祭りのシーンを各自が自由に想像して下さい。

その上で必ず火と人間を入れて描いて下さい。

火の描写に加え、火の光に照らし出される闇の濃度による空間描写を心がけて下さい。

その他の様相は各自が自由に記述して構いません。

陰影を施した力作を期待しています。

※火祭り（ひまつり）

火が重要な役割を持つ祭りのこと。日本全国に見られるが、特に有名なものに熊野那智大社の那智の扇祭り（日本三大火祭りの一つ）などがある。

*以下注意点

- ・ 用紙は縦使い、横使いのどちらでも可とします。
- ・ 描画にあたって定規を使用することはできません。鉛筆を用い、フリーハンドで絵を描いてください。
- ・ 陰影を施すことが強く望まれます。
- ・ 鉛筆を削る際には、後片づけをすること。
- ・ その他、出題内容について不明と思われる部分は、各自で想定してください。
- ・ 全体的なレイアウト、説明があればその部分も採点対象となります。

〔以下余白〕

採 点 欄				

(注) 整理番号・採点欄には記入しないこと。 整 理 番 号

(理工)

受験番号	G	万	千	百	十	一

(注) 整理番号は記入しないこと。 整 理 番 号

氏 名	
-----	--

(理工)